

自分色に染める!
クルマと自分と、そのまわり



「特集」
運転嗜好品選集

GEAR & CUSTOM
ギア & カスタム

所有して嬉しい「ドライバーズギア」
装着して楽しむ「カスタムパーツ」



「集中特集」
灯りの新形態
自動車灯火通信



トヨタGR
ヤリスで

市販ドライバーズシートタイプ別・マッチング

とっかえひっかえマルチ装着レビュー

トヨタ・ヤリスのようなコンパクトなクルマでも大半の主要モデルが装着可能なのは、日本人向けに国内拠点で生産するブリッド製品ゆえの強み。GRを含むトヨタ・ヤリスなら、バケット型ではジータ4とゼロCS、リクライニング型はユーロスターとストリームがより良いポジションを得られやすいとのこと。サポート形状の豊富さはもちろん、カラーや柄にも注目。写真は一例で、色違いを始めとする別のモデルもこと細かくラインアップされる。

リクライニングシート

腰椎への負担を軽減させる メディカルモデル

BRIDE
STREAMS
価格：9万9000円
(レッドBE/シート
ヒーター無し)



人間工学に基づく Sライン形状を採用

Sライン形状が腰椎への負担を軽減させるメディカルコンフォート。ほどよいホルルド感でロングドライブの運転姿勢を維持することができる。

トランスポーターユース 負担軽減のプロスペック

BRIDE
ZA0U
価格：11万3000円
(タフレザーブラック
/シートヒーター無し)



高級感と耐久力を 兼務するワークユース

長時間運転や、頻度の高い乗降動作など、トラックドライバーゆえのハードな乗車形態に合わせたサポートモデル。他のモデルと比べて座面を短くしたトラック向けの製品ながら、一般車にも装着可能。スリムなシルエットは上品にも映る。

スポーツ走行から ロングドライブまで

BRIDE
EUROSTAR II
価格：10万2000円
(グラデーションロゴ
BE/シートヒーター
無し)



身体を包む座面と ショルダーサポート

スポーツカーはもちろん、ミニバンにもマッチする快適性重視のスポーティリクライニング。表皮にはスウェード調の素材を使用して高級感も備え、肌触りもよく高いグリップ感も相まって適度なホルルド感を得ることができる。

タイトな空間にマッチする コンパクトモデル

BRIDE
**DIGO III
LIGHT**
価格：9万円
(ブラックBE/シート
ヒーター無し)



高張力ネットを使う 実用本位モデル

肩や座面をスリム化し、シート幅もミニマムに留めつつ全高も低く抑えたコンパクトサイズにより、軽自動車などにもフィット。とりわけ乗降性が重視され、ニーサポートは低く抑えつつ、腰部サポートで身体をホルルドさせるのが特徴。

フルバケットシート

日本人体型に
合わせた
包み込む
フォルム



BRIDE
ZETA IV
価格：10万円
(グラデーションロゴ/FPR製
シルバーシェル)

最新ブリッド基準に基づく フラッグシップモデル

16年越しのモデルチェンジを経た、バケットシートのフラッグシップモデル。軽量かつ高剛性化を突き詰められたモデルで、ホルルド性や安全性はもちろん、快適性や耐久性まで全ての面でレベルアップを果たしている。

BRIDE
ZIEG IV
価格：11万円
(ブラック/FRP製シルバー
シェル)

重心を低く置く
ディープ
フォルム



サーキットユースに耐える スポーツモデル

レース現場からのフィードバックを元に、よりレーシーさを追求された本格モデル。身体全体を丸く包み込むようなディープホルルド形状を取り、限りなく低くマウントでできることと相まって、運転操作により深く集中できる。

ヘッドガードを
備える
ユニーク
スペック



BRIDE
XERO CS
10万円
(ブラック/FRP製シルバー
シェル)

他とは一線を画す フルガードモデル

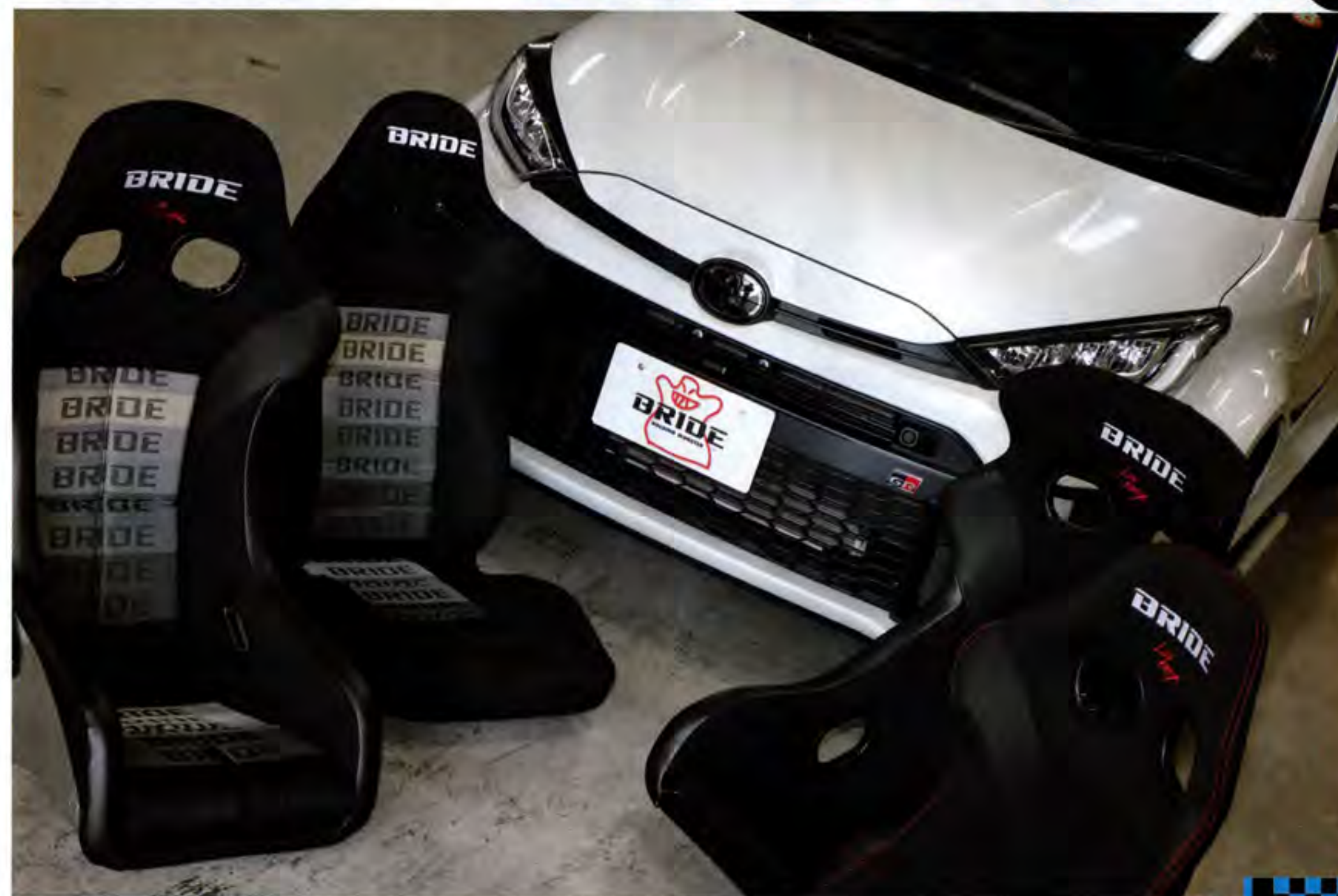
一目瞭然なワイドなヘッドガードはもちろん、腰から大腿部までを深くたっぷり包み込む下半身のホルルド感も特長。キルティング加工が施される内側の処理と相まってフィット感に優れ、集中力が要求される長時間の運転にも向く。

ここからは、愛車に取り付けて楽しむアフターパーツにズームイン! 大事な愛車をグレードアップし、そして日々の運転をエンターテインメントに変えてくれる、2021年夏・珠玉の選択肢をここで目撃!!

車両に装備する嗜好の至高オートパーツ

CUSTOM

【カスタム】編



上質な純正シートでも
感じ方は人それぞれ



素材も作りも立派な純正シートでさえ、どうもしっくり来ない時もある。写真のトヨタ・GRヤリス。このようなアッパークラスのクルマでも、それは同様だ。

「しっくり来る」
着座環境の構築に
コロナ禍で座る機会が多くなるにつれ、着座の大切さを痛感する機会が増えた。デスクワークでも、リビングでくつろぐ時でも、そこで過ごす時間が長くなるほどに、心地よい着座姿勢とは何かを考える機会も多い。それは、車内でも同様だ。クルマの場合、着座姿勢ひとつで運転動作も

自分本位の理想的な座り心地で得る ファン・トゥ・ドライブの 大前提

クルマそのものは同じでも、シート一つを変えただけでドライブ空間は激変する。ここではドライブシートの交換プランを中心に、車内空間のアレンジ術を見ていこう。

大きく変わり、前後左右に動く車内では身体を支えるサポートの役割も強く求められる。同じ椅子でも、ドライバーズシートに求められる要求はひととき多くいえるだろう。

そこで考えてみて欲しい。カーライフにおける大半の時間は運転席に座ったものだ。そこでの時間をより充実させるために、シートが果たす役割は大きい。好みの着座位置を得られ、ハンドルやペダルなどを操作しやすく、長時間の運転でもストレスを感じづらい快適な運転環境の大半は、どれもシートひとつで大きく変わってくる。ただ、この心地よさというのも厄介で、ひとによって尺度も変わる。身長はもちろん手足の長さや姿勢といった体型の違いはもとより、運転姿勢や乗降性等、使われ方も様々であるから

だ。そして、ちょっとしたシートのあつらえによっても、感じ方は大きく変わる。シート全体の剛性感、クッションの反発度、そして座面や背もたれのフォルムまで、わずかな違いが全体としての違和感につながる。感性に関わる機能部品だけにそれも当然だ。

さらに大事なものは、シート単体では是非の判断ができないということ。装着するクルマによって物理的な制約も加わるからだ。そして、それら複合的な要素を加味し、ミリ単位の微細な設計を経て製品化されるのが、市販のカーシートというわけだ。

純正のカーシートが万人に向けた最大公約数であるならば、市販カーシートはクルマの運転に一言を持つ人向けの嗜好品。とはいえ、スポーツ走行を始めとする極限での使用シーンから、日常で使うメディカル向けのものまで、豊富な選択肢が設けられている。ここで紹介するのは、トヨタ・ヤリスにおけるブリッドシートのマッチング例。比較的コンパクトなクルマながら、得られる選択肢は主要例だけでなく七つに渡る。

共通するのは安全面への高い意識で、ここに差異はない。その点こそホビー用とは違う、クルマ用ならではの嗜好と言えらるだろう。

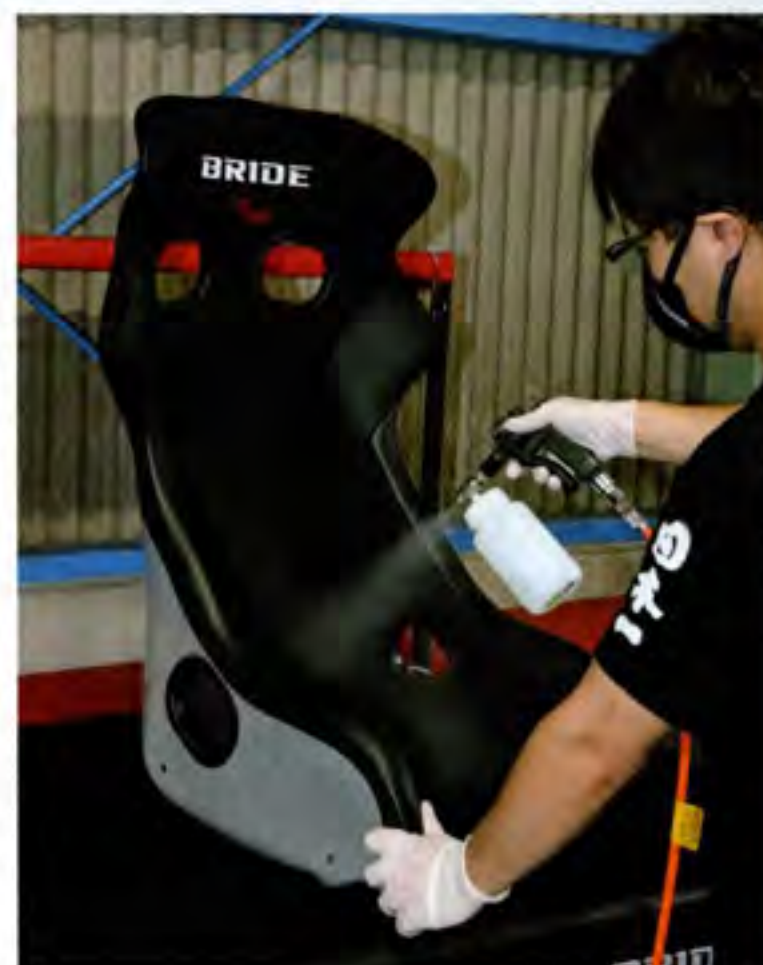
シート交換で得る自分好みの運転姿勢



抗菌処理で得る 触れる安心感

7月より、全ラインアップに適用
「直接身体に触れる製品だからこそ衛生面での安心を」の想いから、抗菌加工を施した製品仕様とする。公的機関で検査され、基準をクリアした専用薬剤を使い、抗菌・脱臭に効果があるほか、ウィルスを不活化させる効果も認められている。

ナノレベルの微細なプラチナ粒子を使った専用の薬剤を使い、加圧式のスプレーガンを使って製品をコーティングすることで衛生面を高めている。



ヒップ& アイポイントを変え、 身体の角度で好みを探る

教室座りのような、やや窮屈な姿勢に違和感を覚えるという声も多いトヨタGRヤリスの運転姿勢。バケット型・リクライニング型を問わず、市販シートへの交換でドライビングポジションの自由度もぐっと広がる。写真を見れば、ペダルに届く足の配置は同じながら、上半身が取る姿勢に違いが出ることが分かるはず。頭上空間に余裕も取れば、視点の異なりによって運転視界も変わる。純正備え付けのシート・ハンドルでの調整幅に限界があるようであれば、シート交換による着座姿勢のアレンジもメニューの一つに加えたい。



BRIDE
GIAS III
価格：未定(※今秋発売予定)

バケット型とリクライニング型 双方の最新イイとこ取り

この秋の発売が予定されている、リクライニング式の旗艦モデル「ガイアス」の最新版。普段使いの快適性を損なうことなく、限りなくバケット型に近いスポーツ性能を達成するなど、高レベルのバランスモデルとなる。剛性面で格段の進化を果たした待望の第三世代、その登場に期待大だ。

待望のハイブリッド旗艦モデル

突き詰めて考えれば、これは安全性にも寄与するもの。クルマの挙動を感じやすくなれば有事におけるリアクションでも反応スピードにも優れるし、ストレスのない視界は進路の異変をより前もって察知できるだけでなく、運転の気分をも高めてくれる。何よりカーシートは、自らの身体を直接委ねる最後のセーフティ機構。そういった直接的な安全面も、ブリッドでは重きを置いている。この7月から受注を受けて製造するブリッドシートは抗菌加工を施した新仕様。車内全体のクリーン環境を考える上で、身体が直接触れる部位は人によりナーバスにもなりがち。常日頃、安心して使えるようにと、市場ニーズを汲みでいち早く具現化した格好だ。

またその考えは、シートの周辺だけでなく空間全体にも及ぶ。先にも寄与するもの。クルマの挙動を感じやすくなれば有事におけるリアクションでも反応スピードにも優れるし、ストレスのない視界は進路の異変をより前もって察知できるだけでなく、運転の気分をも高めてくれる。何よりカーシートは、自らの身体を直接委ねる最後のセーフティ機構。そういった直接的な安全面も、ブリッドでは重きを置いている。この7月から受注を受けて製造するブリッドシートは抗菌加工を施した新仕様。車内全体のクリーン環境を考える上で、身体が直接触れる部位は人によりナーバスにもなりがち。常日頃、安心して使えるようにと、市場ニーズを汲みでいち早く具現化した格好だ。

安全を大前提に置く 車内環境の 空間アレンジ



除菌処理をしても、抗菌コーティングをしても、空気中の汚れまでは浄化できず、常に安心な環境を得ようと思えば空気清浄機は欠かせない。本モデルは医療用途として高い実績を持つタムラテコ社製のオゾン除菌・脱臭機。HEPAフィルターも備えるため、チリやホコリといった微粒子もキャッチできる。

乗車中は常に 空間全体をクリーンに



設置場所での気温(℃)や湿度(%)を天面に表示してくれるほか、お馴染みのブリッド・キャラクターロゴの色を(緑→青→赤)に変えて表示することで、空気の汚れ具合をもグラフィック化する。



フィルターも内蔵し、微粒子を集塵。プレフィルター・HEPAフィルター・活性炭フィルターという3層構造を採る。

医療機器メーカーの プロデュース

官公庁を始め、救急車でも納入実績があるオゾン機器製造の国内トップメーカー、タムラテコ社とのコラボモデルで、価格に見合った上級あつらえとなる。薬品等を使わずに「オゾン」で除菌ができ、運転モードの強弱や停止といった操作切り替えを手がざして操作できる。

BRIDE
AIR BUSTER
PORTABLE
BRIDE EDITION
価格：4万円



注目すべきチャイルドシートが、この7月より発売されている。
シートブランド・ブリッドとチャイルドシートメーカー・リーマンとの
強力タッグによって誕生したこの逸品の、魅力を詳細にレポートする。

Vol.074 BRIDE Konforte ISOFIX

BRIDE ☎052-689-2611 <https://bride-jp.com/>

カー用品 逸品図鑑

まとめ:太田祥三

BRIDE Konforte ISOFIX

価格:6万円



ブリッドらしいレーシーなテイストで仕上げられている当アイテム。ブリッドのロゴが入れたサポートピローを含めカバー類はすべて洗濯機で洗える。本体のカラーはブラックタイプのみ。純日本製であることも自慢だ。



こちらはブラックのサポートピロー。レッドとブラックの両方が付属しているので、都度きれいなものを使用できる。

サイドボタンにより、シートを簡単に回転させられる。なお当品は、新生児から使用可能。「モアフラットシステム」が採用され、赤ちゃんを自然な姿勢でサポートする。



頭部保護のために、このように手厚くクッション類が装備されている。なおベースとなっているのは、リーマンの『ラクールISOFIX』だ。

2つの実力ブランドが それぞれのノウハウを結集して 高品質なチャイルドシートを開発

こだわったのは安全性
使いやすさ、デザイン。

最初に、ブリッドとリーマンについて説明していこう。まずブリッドは、バケットシートを主力製品の1つとしながら乗用車からトラック用のシート、さらにはルームチェアまで幅広く手掛ける、国内ではトップ、世界でも5指に入るといって一大スポーツシートメーカーだ。

一方リーマンは、チャイルドシートの専門メーカーだ。創業は2001年と比較的に若いブランドではあるものの、品質に徹底的にこだわる

姿勢が市場で高評価を得ていて、今では人気ブランドの1つとなるまでに成長している。

その両社がタッグを組み、それぞれが持ち得ているノウハウを結集させて、このチャイルドシートは完成されている。

なお製品名の読み方は、「ブリッド・コンフォルテ・アイソフィックス」で、ISOFIXとは、チャイルドシートの固定方法の世界規格のことを指す。日本では2012年7月以降に発売されたクルマにこの設定が義務付けられていて、対応しているチャイルドシートなら車両側とシート側

の金具を連結することで簡単かつ安全に装着できる。今作も、それへの対応が図られたモデル、というわけだ。

その上で当品は、それ以外にも特長を多々有する。まず挙げるべきは、最新の安全基準である「R129」に対応していること。当基準では側突対応が強化されているのだが、当品はそのところにも抜かりがない。大型のサイドプロテクションと低反発ウレタンとをダブル装備し、赤ちゃんの頭部をしっかり守る。

また、使いやすさへの配慮も行き届いている。シートの両サイドに回転ボタンを備え、ドア側からも座席側からもワンタッチ操作でシートを回転させられる。結果、スムーズな乗せ降ろしが可能だ。

さらには、デザインも至って秀逸だ。高級感が高くレーシーな雰囲気も十二分。サポートピローにはブリッドのロゴも入り、クルマ好きの琴線を震わせる。

かくして、安全性と使いやすさ、そしてデザイン性にも特長を持つ逸品として仕上げられているこの『BRIDE Konforte ISOFIX』。パリュウの高いチャイルドシートを探していたというのなら、これの購入を検討する価値は大だ。